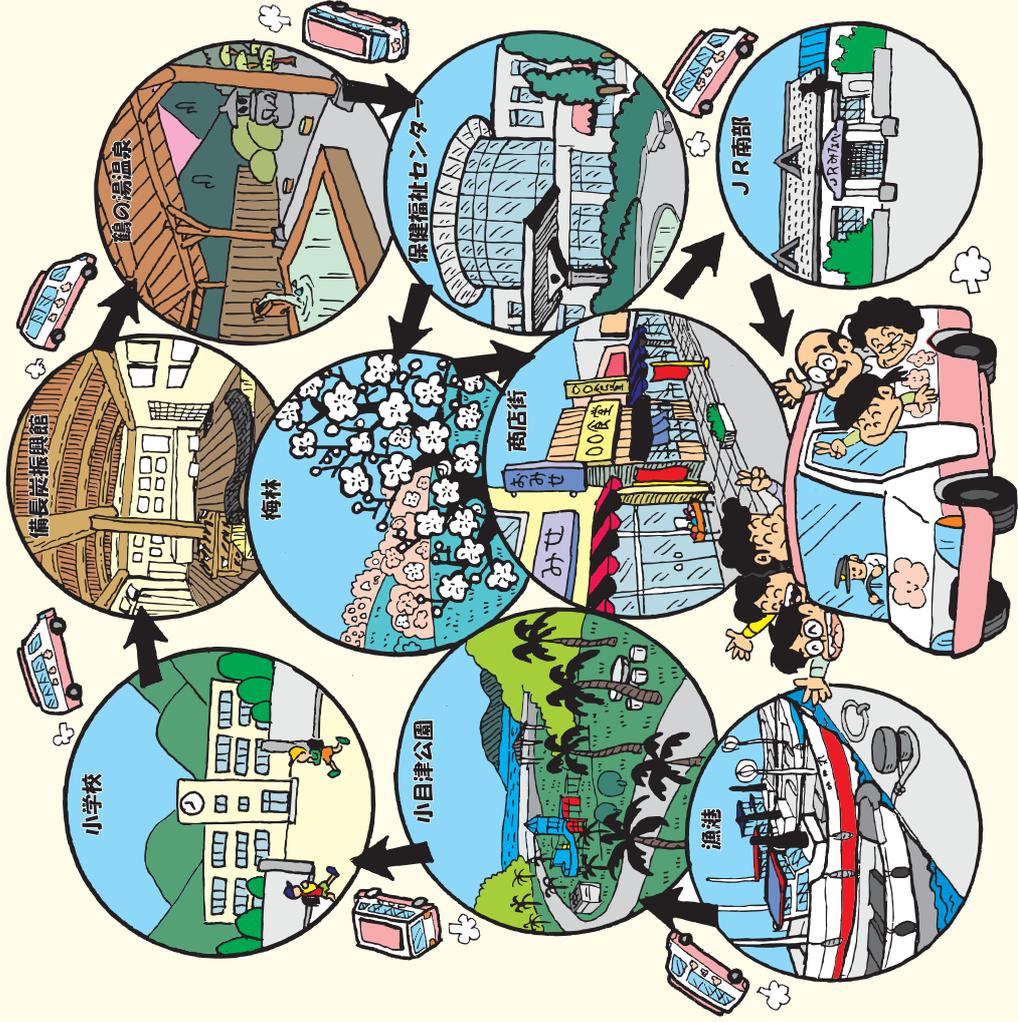


## 重点プロジェクト

新町まちづくりの重点プロジェクトは以下のとおりです。プロジェクトとは将来像実現や課題解決に当たって取り組んでいくべき施策・事業の組み合わせを示します。

### 重点プロジェクトのイメージ (コミュニティバス関連)



駅や図書館、商店街、うめ振興館、保健センターや各種福祉施設など、新町「みなべ町」の公共施設を結び身近な交通手段をイメージしています。

#### ① 梅産業の振興…『うめ日本一の元気なまち』

新町の梅産業はブランド・生産量ともに日本一であり、地域の経済を支えています。しかし、近年、国内他産地の生産量増大、輸入低価格梅干しの増加などにより、紀州梅の消費についても楽観が許されない状況であり、その対策が課題となっています。今後とも地域を支える基幹産業として持続的に発展していくために、県立の梅研究施設を核として、官民協働により6次産業をトータル・コーディネートするということを考え方のもとで施策を検討し実施していきます。

#### ② 交流の場の整備…『互助・互恵のまち』

新町は南部川の源流から河口まで一水系全てを包みこむことで、山の恵みと海の恵み（自然と人材）の両方を享受できる豊かな環境を有する町となります。これらの恵みを効果的に生活と融合させるためには相互の連携と交流が必要であり、交流の場の整備が求められます。

このため、合併により南部川村の村民センターを改修し、町民の交流の場として整備します。

また、野外イベント、遠足や老人会などの集まりなどで住民が憩える空間となる公園の整備、及び町内外の交流を円滑にするための道路整備など基盤整備を図ります。

さらに、山間地域において、自然林の復活、南部川水系の保全、山間地域、海地域の相互理解のための住民交流を目的とした、環境保全自然樹林の造成を図ります。

#### ③ 中心市街地の魅力化と商業振興

…『便利・安心・安全なまち』  
梅、炭、魚など他産業と商業の連携による商品・サービスの魅力化や、既存施設を有効活用したイベントの開催、若者の活動（音楽など）の空間（まちなかミニコンサート会場）の提供などにより、中心市街地の魅力化と商業振興を図ります。また、コミュニティバスの運行、公共施設の駐車場の休日開放などにより、中心市街地へのアクセスの確保を検討します。

なお、コミュニティバスは、通園・通学や、住民サービス施設へのアクセスも担い、中心市街地と町内各地を連絡します。

#### ④ 合併記念イベントの開催

…『永く住みたい魅力あるまち』  
健康・福祉日本一の町の実現に向けた梅林ウォーク（仮称）の実施や、新産業の起業や消費拡大のPRを狙いとした、梅、備前炭、漁業による合同産業祭り（仮称、例：体験漁業&魚・梅・炭直販イベント）など、各分野において合併記念イベントを開催します。

#### ⑤ みなべ川フォーラム（仮称）の開催

…『緑豊かで快適なまち』  
南部川上下流の新たな連携の構築をめざして、みなべ川フォーラム（仮称）を立ち上げ、それぞれの地域のまちづくり等住民組織の相互交流や、ボランティア活動などを通じた人材育成、南部郷を取り巻く自然の保全と活用など全町での取り組みなどを進める場とします。またフォーラムの活動をより充実したものとすため、関係者の意向を踏まえNP0化についても検討します。